

宮城県沖の地震（5月15日 M6.4）の震源断層モデル（暫定）

- ・ 基準期間：2026年5月12日 09:00—2026年5月15日 08:59 JST（速報（R5.1）解）
- ・ 比較期間：2026年5月16日 09:00—2026年5月19日 08:59 JST（速報（R5.1）解）
- ・ 固定局：猿払（950101）

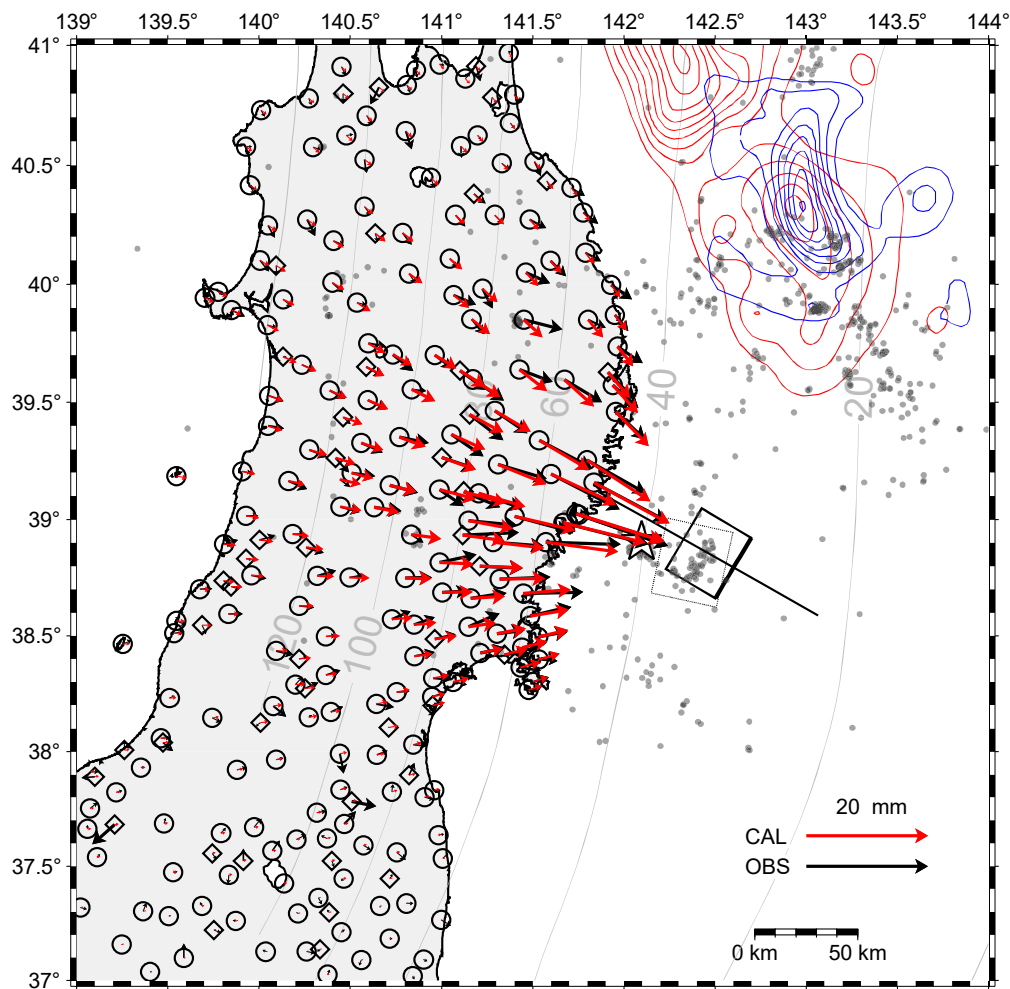


図1 推定された震源断層モデル。矩形実線は震源断層モデルを地表に投影した位置で、太い実線が断層上端。矢印は水平方向の観測値（黒）及び計算値（赤）。丸が電子基準点、菱形が民間等電子基準点*を表す。赤等値線は1968年十勝沖地震、青等値線は平成6年（1994年）三陸はるか沖地震のアスペリティ（永井・他，2001）。破線の四角は、2015年5月13日に発生した地震（M6.8）の矩形断層モデル。星印は今回の地震の震央、灰色の点は本震発生以降から5/18 23:59（JST）までに発生した震源（気象庁一元化震源を使用）。

*民間等電子基準点：株式会社NTTドコモ

表1 推定された震源断層モデルパラメータ

緯度 [°]	経度 [°]	上端深さ [km]	長さ [km]	幅 [km]	走向 [°]	傾斜 [°]	すべり角 [°]	すべり量 [m]	M _w
38.921 (0.04)	142.699 (0.04)	28.0 (3.5)	33.5 (3.4)	32.6 (3.2)	209.3 (13.1)	32.9 (3.2)	101.5 (16.3)	0.53 (0.08)	6.84 (0.02)

- ・ VRは85.6%。
- ・ マルコフ連鎖モンテカルロ（MCMC）法を用いてモデルパラメータを推定した。
- ・ 位置は断層の左上端を示す。括弧内は誤差（1σ）を示す。
- ・ M_wと断層長さ・断層幅の関係をスケーリング則（Strasser et al. 2010）で拘束。
- ・ M_wの計算においては、剛性率を40 GPaと仮定。